

紀陽会における強酸性電解水の研究と活用の歩み

藤原功一、楠本裕美、荒川昌洋、藤澤達也、田仲 勝

特定医療法人紀陽会 田仲北野田病院

1. はじめに

田仲紀陽先生と強酸性電解水との出会いは、強酸性電解水が驚異の水としてTV放映されてからしばらくして、メーカーとともに来阪された東京在住の知人が強酸性電解水を説明してくれたことであった。強酸性電解水は殺菌効果が高く、即効性であり、耐性菌の発現がなく、安

全性が高く、経済性に優れ、かつ環境にやさしいという特性を持っているというとても興味深い内容であった。当時、関連施設の北条田仲病院で透析装置の配管系に汚染が見られ、苦慮していたこともあったので、強酸性電解水を透析装置の配管の洗浄消毒に使用できないか検討を始めた。その後の経緯は以下の通りである。

- 1994年9月 田仲クリニック（現北条田仲病院）にて強酸性電解水による透析液配管系の洗浄消毒試験を開始。
- 1995年1月 臨床応用を目的に、殺菌検査、保存試験、手洗試験、エンドトキシン不活化等の基礎実験を開始。
- 1995年6月 透析配管への自動洗浄システムを開発。機器への影響について基礎実験を行う。
以後清浄化への長期的検討を開始。
- 1996年1月 術創、創傷、褥創、透析穿刺部等への臨床使用を開始。
- 1996年2月 強電解水を用いたダイアライザの再生方法の研究を開始。
- 1997年6月 強電解水によるダイアライザ再生の臨床応用を目的に、山東医科大学劉子棟先生と共同研究。
- 1999年12月 田仲理事長が中心となり、関西ウォーター研究会を設立。
- 2001年12月 第8回機能水シンポジウム（財団法人機能水研究振興財団）の大会長を務める。
- 2002年12月 日本機能水学会の設立に関西ウォーター研究会が参画。
- 2003年5月 北条田仲病院開設に際し、電解水による中央配管システムを設置。
- 2006年4月 機能水研究振興財団の調査研究事業「強酸性電解水評価委員会研究班」に参画。
- 2007年12月 第6回日本機能水学会学術大会を田仲理事長が大会長として開催。
テーマは「機能水の近未来展望—更なる、科学的解明と社会的評価を目指して—」

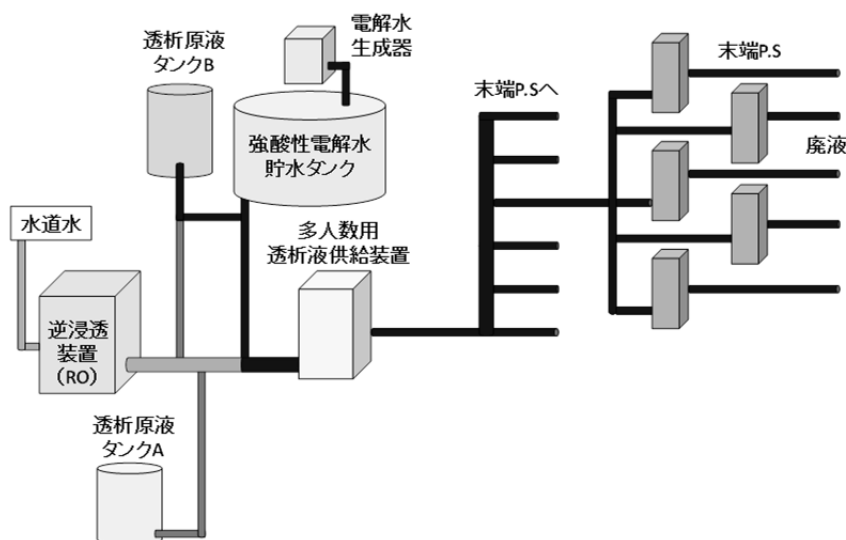


図1. 透析配管系と強酸性電解水送液配管

**Footsteps of Kiyokai in research and application of strongly acidic
electrolyzed water**

K. FUJIWARA, H. KUSUMOTO, M. ARAKAWA, T. FUJISAWA and M. TANAKA

Tanaka Kitanoda Hospital